



ものづくりの産業と豊かな自然が織りなす観光のまち燕市

— 燕市 —

■概要

2006年3月20日、燕市・吉田町・分水町が合併し、新生燕市が誕生しました。燕市は越後平野のほぼ中央に位置し、上越新幹線燕三条駅や北陸自動車道三条燕ICがあり、国道116号や289号、JR越後線や弥彦線が東西南北に網羅された交通アクセスに便利なまちです。

また、金属洋食器、金属ハウスウェアなど日本を代表する金属加工業の集積地となっており、「ものづくりのまち」として、世界的にも広く知られるとともに、国上山や大河津分水路といった「豊かな自然」にも恵まれています。

■産業と食文化

燕の金属産業の歴史は、江戸時代初期の度重なる洪水によって困窮した農民たちを救済するため、副業として始まった和釘づくりが発祥と言われています。また、江戸時代中頃からは、ヤスリ、煙管（きせる）、矢立（やたて）、鉋起銅器（ついきどうき）などの特産品が生まれました。そして、明治末期には金属洋食器の生産が始まり、戦後にはハウスウェアの製造やデザイン性の高い製品の開発に取り組み、現在ではノーベル賞晩餐会や東京2020オリンピック・パラリンピック大会の選手村食堂でも燕市産カトラ

リーが使用されるなど、世界に認められる金属洋食器・金属ハウスウェアの産地となりました。

燕市産業史料館は、先人の心を大切にし、技術遺産を保存する場として建設された施設であり、前出の江戸時代初期の和釘づくりに始まる燕市が歩んできた金属加工技術の変遷を過去から現在まで実物展示する日本でも珍しい史料館です。鉋起銅器や金属ハウスウェア製品を多数展示しているだけでなく、ものづくり体験を通じて燕市の産業の歴史を体感できる施設となっています。



▲燕市産業史料館

また、燕背脂ラーメンは、ものづくり・金属洋食器産業が盛んな工場で、残業続きの工員の要望から誕生した食文化であり、汗をかき働く人に合わせた少し濃いめのスープに、伸びにくく腹持ちのいい太い麺とスープに背脂を振りかけたものとなっています。スープを背脂で覆うことで冷めにくく、出前後すぐに食べられない工員たちに喜ばれました。この燕背脂ラーメンは、金属産業の発展とともに誕生した食文化として、2022年3月に文化庁の「未来の100年フード部門～目指せ、100年！～」に認定されました。2023年からは、市内で背脂ラーメンを提供する店を回り、シールを集めると素敵な賞品がもらえる“燕背脂ラーメンシールまつり”を開催して、燕市のソウルフードを市内外に向けて広く発信しています。



▲さまざまな燕市産金属洋食器



▲燕背脂ラーメン

■観光

燕市はこれらの産業を生かした観光のみならず、江戸時代の名僧・良寛ゆかりの地である国上山は、県内最古の名刹である国上寺をはじめ、五合庵や乙子神社、酒吞童子伝説など残り、豊かな自然や史跡、歴史や文化の宝庫ともなっています。



▲江戸時代の名僧・良寛

また、越後平野の守り神と呼ばれる大河津分水路は、先人たちの水との戦いの歴史でもあり、2022年に通水100周年を迎えました。当時の土木技術を駆使して建設された大河津分水路の完成により、越後平野は胸まで浸かる湿田から豊かな穀倉地帯へと生まれ変わり、私たちの生活を守ってくれています。現在進行中の分水路の川幅を広げる工事は、「令和の大改修」と呼ばれ、昨今の異常気象にも対応できるよう進められています。

また、大河津分水路の偉業を後世に遺そうと1910年頃より桜の植樹が始まりました。ソメイヨシノが咲き誇る桜並木と雄大な大河津分水の流れを同時に楽しむことのできるこのスポットは、大河津分水桜並木と呼ばれ、日本さくら名所100選にも選ばれています。

そして、この大河津分水桜並木では毎年4月に分水

おいらん道中が開催されており、2025年には80回の歴史を持つ春の一大イベントとなりました。1924年頃、観桜の余興で始まった仮装行列は、粋を極めた“おいらん道中”となり、信濃太夫、桜太夫、分水太夫の3名のおいらんが約60名もの付き人を従え、桜の下を練り歩きます。絢爛豪華な衣裳に身を包み、独特の外八文字の歩き方を披露するさまを見ようと、例年国内外から多くの観光客が訪れています。



▲分水おいらん道中

また、国上山のふもとにある道の駅SORAIRO国上では、燕市の特産品をはじめ、地元の採れたて野菜を販売するほか、温泉施設、足湯、お食事処、公園なども備えています。2022年には新たにデイキャンプエリアやバーベキューエリア、ジェラートやピザなどが楽しめるフードコンテナ、さらに、2023年には日本RV協会認定のRVパーク&キャンプフィールドが新設され、アウトドアと癒しのスポットとして多くの人々に利用されています。



▲道の駅SORAIRO国上物販スペース店内

見事に咲き誇る桜に始まり、鮮やかな新緑、燃えるような紅葉、美しい雪化粧と自然豊かな四季とともに、見どころ、食べどころ、遊びどころ満載の燕市をぜひお楽しみください。